

## ★ 今月の星もよう ★

5月の宵の時間帯には春の星座がよく見えています。おおぐま座のしっぽのあたりにある北斗七星の柄の先からうしかい座のオレンジ色のアークトゥルス、おとめ座のスピカへと線を結ぶと、「春の大曲線」ができあがります。さらに、アークトゥルスとスピカ、しし座の2等星デネボラを結んだ三角形を「春の大三角」と呼びます。裏面の図を参考にしながら、実際の夜空で春の星座を探してみましょう。

ちなみに、アークトゥルスは「菱星」、スピカは「真珠星」という日本の呼び名があります。文化のちがいにより、星や星座の呼び方は地域によって様々です。ジオスペース館だよりでは、主に日本名(和名)をご紹介します。

## ★ 天体観望あれこれ ★

■ 星空を見上げてみましょう！～大宇宙は目の前に広がっています～

皆さんは星空に興味があってジオスペース館のプラネタリウムをご覧になったことと思います。ドームのなかに広がった星空を実際の夜空で自分の目で確かめたいと思いませんか？

月明りのない日に夜空が眺められる場所に行ってみましょう。おすすめは愛知県で一番標高の高い茶臼山。茶臼山高原道路沿いには駐車場がいくつかあり安全に星空を見上げることができます。

一生の思い出に残る星空に出会えることでしょ！

ぜひご自分の目で体験してみてください！

## ★ 天文現象トピックス ★

■ みずがめ座η(エータ)流星群はゴールデンウィークにぴったり！

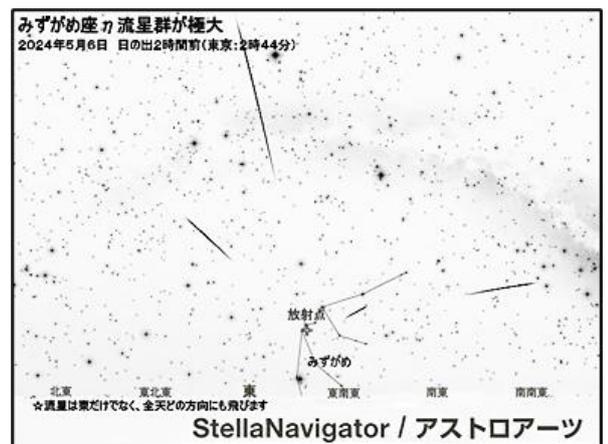
5月上旬ごろに出現する「みずがめ座η流星群」は、みずがめ座η星の付近から四方八方に多くの流星が飛び出すように見えることから、その名がつけられています。流星群の流星が飛び出す天球上の点を、「放射点」(または輻射点)と呼びます。

この流星群は、今年日本では5月6日午前6時ごろ極大(最も多くの流星が降る時期)になると予想されますが、明るい時間帯は観察が困難なため、5月5日と6日の午前2時から明け方の時間帯に観察するのがよいでしょう。

放射点があるみずがめ座のある方向(東南東、土星の上の方向)を確かめて、天候に気をつけて観察してみてください。前後数日間はおなじくらいの流星が見られます。

背もたれが傾けられるディレクターチェアーやサマーベッドなどにかけて、楽な姿勢で、観察を楽しんでみてください。

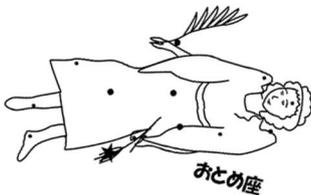
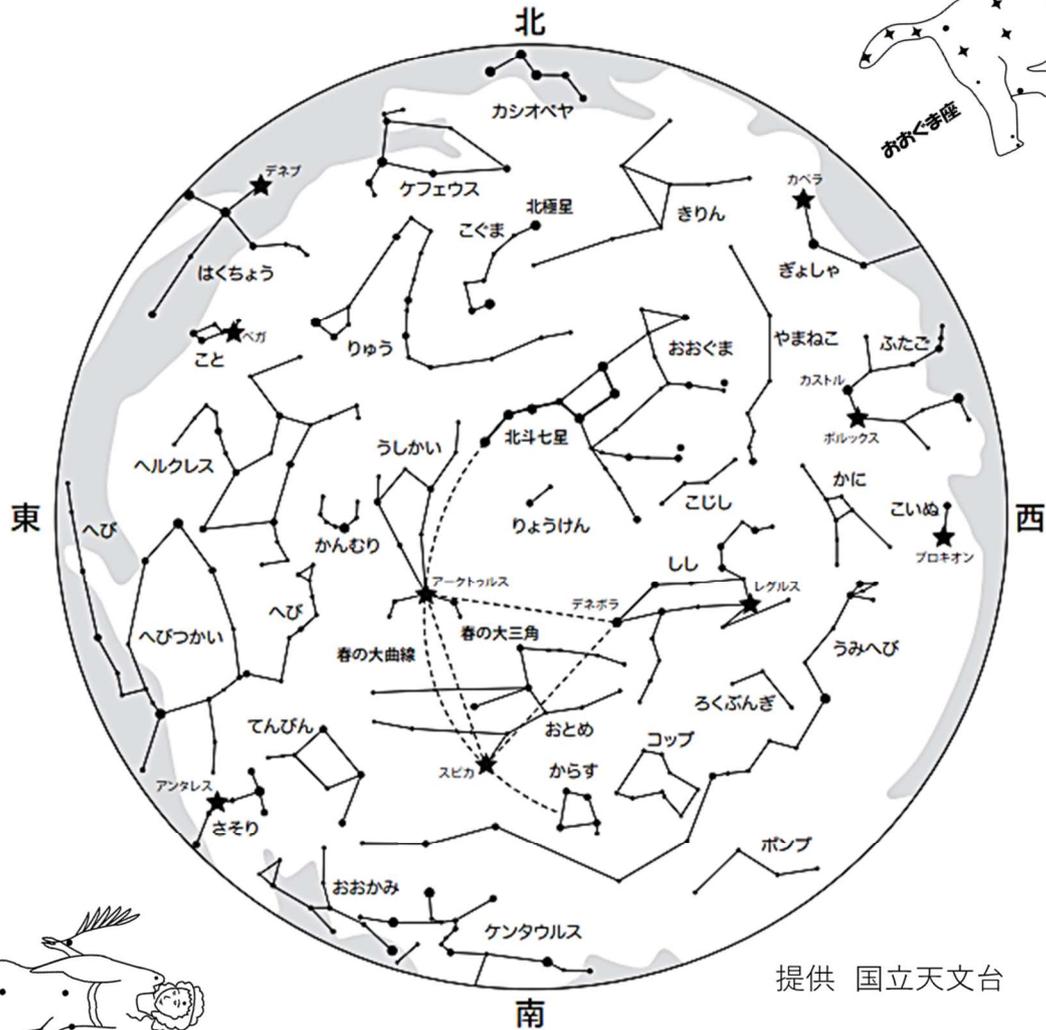
周りに明かりがあるときは、建物などの影に入ったり、うちわで顔をかくしたり、直接光が目に入らないようにしましょう。



★ 5月のプラネタリウムの内容については、別刷りの「投影案内」をご覧ください ☆☆

★ プラネタリウムのお休み 5/7(火)、8(水)、9(木)、10(金)、13(月)、15(水)、20(月)、27(月)

# 5月中旬午後9時頃の星空



提供 国立天文台

星座絵 ©長谷部 孝男

## ★ 5月の主な天文現象 ★

- 1日(水) 下弦
- 4日(土) 未明～明け方 細い月と土星が接近
- 5日(日) 未明～明け方 細い月と火星が接近
- 6日(月) みずがめ座 η 流星群の活動が極大
- 8日(水) 新月
- 9日(木) 月が木星に最接近
- 15日(水) 上弦
- 23日(木) 満月 (フラワームーン)
- 31日(金) 下弦

■かんむり座 T の 80 年ぶりの新星爆発近し。  
 かんむり座 T と呼ばれる反復新星(または再帰新星)が 80年ぶりに秋までには爆発しそうです。小さな望遠鏡や双眼鏡でも、頻繁に見ていたならそのときに遭遇しそうです。  
 カメラ三脚に、ピノキューラーホルダーで固定したり、車のボンネットにひじをつけて見ると、ブレずに見ることができます。ワクワクの自然現象です。

双眼鏡の視野(10°)にぴったり!

